情報通信

提示する情報量を対話的に制御可能な提示情報編集システム

山西良典　総合情報学部　総合情報学科　山西研究室

Point1　本研究の概要

さまざまな情報があふれるWEBにおいては、情報の受け手のニーズは多様化しています。そして、受け手の求める楽しみ方ごとに、求める情報量や範囲は大きく違っています。

そこで、受け手からの能動的な「もっと知りたい！」、「ここは物語の読書の中で楽しみたい！」といったさまざまな感性に応じて、物語のあらすじを提示するインタラクションを実現し、ネタバレを抑えつつ興味を引き出したい読者と、局所的な改稿を効率化したい作成者の要求を同一プラットフォームで両立させます。

Point2　応用可能な分野

情報の受け手の好みのストーリーを展開する
・・・・広告制作、企業PRなどで、顧客にあったアプローチで商品PRを行う

どの情報を／誰に／どのタイミングで開示すると理解と興味が最大化されるか
・・・・マーケティング展開

Point3　連携を希望する業種等

・企業PR部門
・広告代理店　など

詳細な研究・技術シーズは次ページへ

＜キーワード＞　提示情報制御，知識構造化，インタフェース，インタラクションデザイン

情報通信

提示する情報量を対話的に制御可能な提示情報編集システム

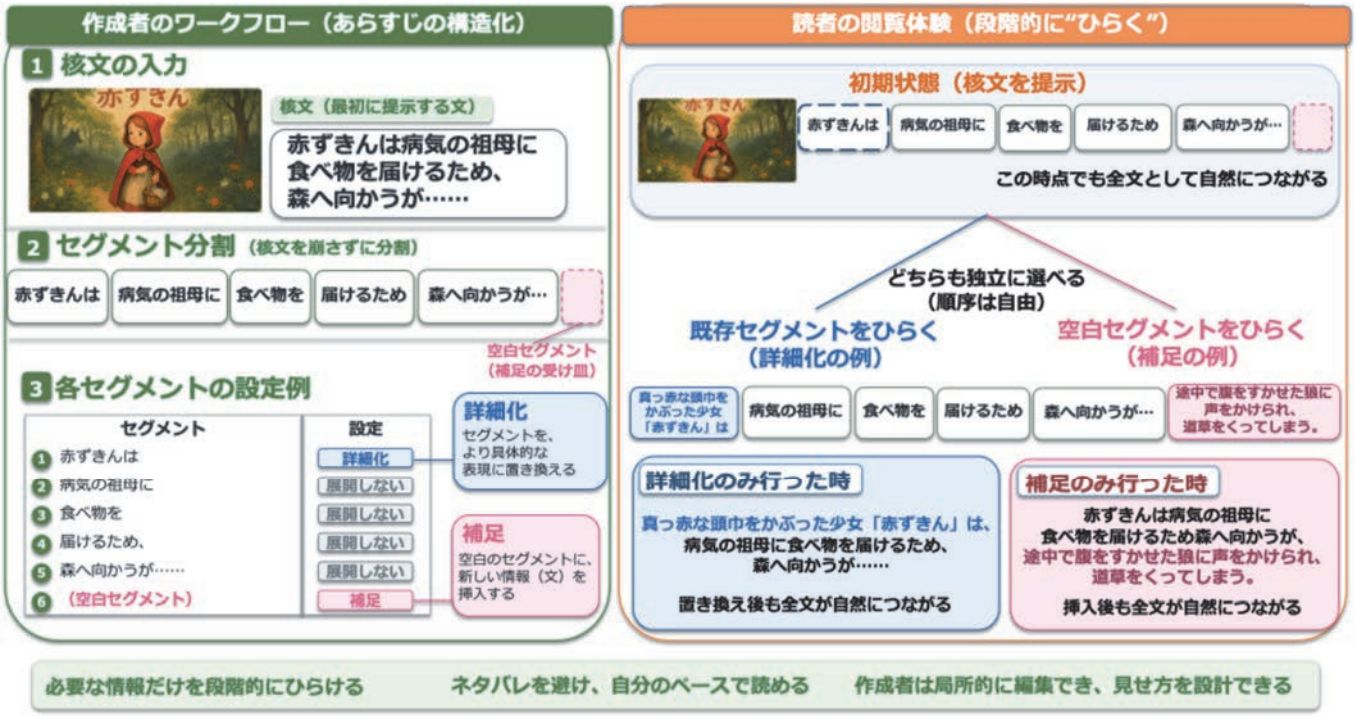
用途・応用分野

- ユーザの事前知識や興味に応じて、情報を階層的に開示可能なインタフェース
- どのような情報を初期提示し、どのような情報を隠蔽するのか編集可能なインタフェース

本技術の特徴・従来技術との比較

- ニュースや物語などでユーザのニーズに応じて情報量を制御可能にする
- 段階的に情報を開示させることにより、読者が何に興味をもったのかをログ取得可能
- 提示情報を階層的に編集させることで、ネタバレの回避や段階的な教育などに利用可能

技術の概要



特許・論文

＜特許＞
「システム、システムが実行する方法、及び、コンピュータプログラム」
（特願2025-165009）

＜論文＞
諸隈 直志，山西 良典：BeWoLF：読者の興味に応じて「ひらくあらすじ」，情報処理学会ECシンポジウム2025，2025年8月

研究者

山西　良典
総合情報学部　総合情報学科
山西研究室

お問合わせ先
関西大学 社会連携部 産学官連携センター
TEL：06-6368-1245
MAIL：sangakukan-mm@ml.kandai.jp